

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	光環境制御シミュレーション小委員会	主 査 名：鈴木広隆 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)	委員長名：岩田利枝 主 査 名：大井尚行
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、量的質的に適切な光環境を実現するための制御手法とシミュレーション手法についてニーズシーズ両面から検討を行うことを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各 WG のメンバーのニーズシーズを WG 全体で共有し、連携の可能性を検討する。</li> <li>・初年度に検討した連携の可能性に基づき個々の技術を組み合わせる取り組みを行う。さらに小委員会及び WG の活動状況を踏まえてシンポジウムを開催する。</li> <li>・各 WG の 2 年間の活動内容を踏まえ、新たに各 WG のメンバーのニーズシーズを WG 全体で共有する。さらにより高度な技術を組み合わせる取り組みを行う。</li> <li>・4 年間の活動を取りまとめたシンポジウムを開催する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	主査：鈴木広隆 (神戸大学) 幹事：加藤未佳 (日本大学) 委員：市原真希 (大成建設)、大塚俊裕 (清水建設)、加藤元紀 (日建設計)、小島義包 (大林組)、小林光 (東北大学)、杉鉄也 (竹中工務店)、原直也 (関西大学)、平島重敏 (旭硝子)、細淵勇人 (愛知工業大学)、本間睦朗 (立命館大学)、向健二 (パナソニック)、宗方淳 (千葉大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<b>光・視環境制御 WG</b> 省エネルギー性に加え、視的快適性や健康などヒューマンセントリックな視点を踏まえ、光環境制御技術の情報収集を行い、普及に向けた課題や評価手法に関する課題等を整理し、それらの解法を探る。 <b>昼光制御シミュレーション WG</b> 光環境のシミュレーション技術及びその結果に基づく機器の制御方法の技術についての最新情報を収集し、かつ委員同士の持つ技術を組み合わせる新たな制御シミュレーション手法の開発等に取り組む。 <b>昼光年間評価指標 WG</b> 昼光利用の年間評価指標の妥当性を検討し情報発信を行う。	
2018 年度予算	95,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む) 他に光・視環境制御 WG 5 回、昼光制御シミュレーション WG1 回(小委員会と合同開催)、昼光年間評価指標 WG4 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. なし
講習会	1. なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. なし
大会研究集会	1. なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. WG を開催してメンバー同士の持つ技術を共有することで、ニーズシーズを WG 全体で共有することができた。また、WG と小委員会の合同開催や、WG メンバーによる報告などを通して連携の可能性を検討することができた。よって、達成度は良好であったと考えられる。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし

## 2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価 ・ 最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>小委員会では、委員間 WG 間の情報共有を行うとともに、2019/3/20 に開催する会議で、2019 年度に開催するシンポジウムについて方向性を検討する予定である。</p> <p>光・視環境制御 WG では、光環境制御技術の情報共有を行い、その情報を広く発信するために書籍化を検討した。2018 年度までの活動を踏まえ、次年度より企画刊行委員会へ移行する予定である。</p> <p>昼光年間評価 WG は、これまで 3 回の WG の活動を踏まえて評価指標案をとりまとめ、2019/3/5 に開催される会議でこの案を検討する予定である。</p> <p>以上の活動成果を基に、総合評価を B とした。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。